

労働組合は労働者が、思想・信条の違いを越え、同じ労働者として一致した要求にもとづいて団結し、運動する自主組織です。労働者は労働組合に入ることで、初めて使用者(当局)と対等な立場に立つことができます。そして、労働組合が民主的運営を貫くためにも「労働組合の三原則」①資本からの独立、②政党からの独立、③一致する要求にもとづく統一行動を守っています。自治労連は結成以来、この「三原則」を貫き続けているからこそ、職場からも地域からも信頼されながら運動を展開しています。



### 原則1 雇用主(当局)と 対等であってこそ 意見が言える

労働組合は、自分たちで活動内容を決め、自分たちで行動するものです。雇用主や当局に資金援助を受けるなど、関与されれば雇用主や当局に対して、意見を述べることができず、要求を実現させることも困難になります。自治体で誤った問題が起きた時、住民を守る立場で当局に意見を言うのも労働組合の役目です。

## 私たちが大切にしているもの

### 原則2 思想・信条の自由を 保障してこそ前進できる 要求実現運動

国民・労働者の思想・信条は、憲法でも保障され、いかなる場合でも侵されるべきではなく、誰かに強要されるものではありません。政党は、政治理念が一致する人たちで結成されています。労働組合が組合員に一部の政党への支持を強要したり、組合員から預かった組合費を、政党の活動に使うことは、組合員の思想・信条の自由を侵すことになります。自治労連は住民や組合員の要求を実現するために、一部の政党を丸ごと支持するのではなく、複数の政党を含む様々な個人・団体と、一致した要求で協力・共同の立場を貫いています。

### 原則3 みんなの要求 正規も非正規も 力を合わせて実現へ

私たちの職場には様々な雇用形態の労働者が働いています。また、年齢や性別の違いなどもあり、仕事を続けるための一人ひとりの持つ要求は多様です。「もっと給料を上げてほしい」「定時で帰りたい」など、働く者の要求を大切にし、その実現に向けて力を合わせて取り組むのが労働組合です。自治労連は、「すべての自治体・公務公共職場で働く労働者」の生活と権利を守る取り組みを、全国の自治体職場で展開しています。

# 自治労連

## あなた の力 が 必 要 で す



# Welcome to Our Union!

住民のために、仲間のために、  
自分のために、誇りをもって  
いい仕事がしたい

きっとみなさん、こんな思いを抱いて自治体職員の道を選んだのではないでしょうか。「全体の奉仕者」として住民のために仕事をすることは使命であると同時に、自分のためでもあります。住民の笑顔や喜びが、あなた自身のやりがいや誇りにつながるからです。住民に役立ち喜ばれる仕事をするためには、憲法をいかす立場で仕事を見直し、改善することも必要です。働き続ける中で起こるさまざまな問題について、「こんな場合、立法の趣旨に照らしてどうか」「憲法にもとづいて、制度をどう運用すればいいか」など常に住民の願いに寄り添って、憲法に基づいた仕事をするにはどうしたらいいか考える必要があります。役所とは、(住民の)役に立つ所と書きますね。ぜひあなたの初心と一緒に実現していきましょう。

## 労働組合って何？

全国各地の自治体・公務公共関連労働組合が集まって活動しているのが自治労連です。労働組合はひとことで言うと、職場の仲間で作り、賃金・労働条件や福利厚生の改善など健康で安心して働き続けられる職場づくりをめざし、みんなで力を合わせて支え合いながら活動するところです。結婚・子育てをしながら働き続けるために必要な育児休業も、昔は導入していない自治体があったり、理解されずに取りづらい場合もありましたが、組合の運動によって働くものの当然の権利としてとれるようになりました。これは、労働組合の先輩たちの運動で勝ち取ってきた財産です。

組合があればこそ、様々な要求をとりあげ、実現することができます。一人ではかなえられない要求も労働組合で取り上げ実現することも可能です。また、要求を実現させるには、労働組合に職場のみんなが加入していることが大事です。要求実現のためにも仲間を増やすことが大切です。組合では他にも、いい仕事をするための研修や学習会を開催したり、各種スポーツやレクリエーションなどに取り組んでいます。あなたも自治労連に加入して、今後の仕事や人生のさまざまな場面に役立つかけがえのない財産をつくりましょう。

憲法をいかし、住民生活を守る。  
その思いを共有し、  
**一緒に 実現しよう！**



新規採用の職員のみなさん、ご就職おめでとうございます。

みなさんと一緒に仕事ができることをうれしく思います。

私たちの仕事は、地域に密着して住民サービスの向上をめざす、やりがいのある仕事です。みなさんも大なり小なり、仕事に対して夢や希望を抱いていらっしゃるでしょう。人から感謝されたり、困難を乗り越えて業務をやり遂げたり、仕事には嬉しい場面がいっぱいあることは石破かです。一方で、数々の辛いことも、経験すると思います。毎年、業務や職場の人間関係などに悩み、就職して間もなく辞めていく青年がいます。心が完全に折れてしまう前に逃げる、という選択を否定するわけではありません。でも、そうなってしまう前に、「辛かったね」「あなたはダメな人なんかじゃないよ」「きっと大丈夫」と励まし合える仲間や先輩がいるということを、どうか知ってほしいのです。労働組合や労働組合の先輩たちは、そういう存在でありたいと思っています。労働組合に加入して、悩みを一人抱え込まないようにして下さい。何でも気軽に相談して下さい。

自治労連の青年からの手紙



「コロナ危機」から住民を守るのは、私たち自治体労働者の役割です。コロナ危機により、保健所、自治体病院、学童保育、保育所、児童相談所、住民窓口などをはじめ全ての職場で「公務公共業務」の果たす役割の大切さがより一層鮮明に浮き彫りになりました。自治労連は、これまで、住民の苦難や、差別を受ける非正規労働者の処遇改善、コロナで困窮する人たちの支援などに取り組んできました。

「住民のために仲間のためいい仕事がしたい！」

## 自治労連運動とは、

自治労連は、自治体・公務公共職場で働く正規・非正規労働者の労働条件の改善と、住民の福祉の向上とを統一して追求しています。「住民のためにいい仕事がしたい」との原点を大切に、住民のいのちとくらしを守るために、自治体労働者がどのような仕事ができるのか、それを可能とする予算や人員体制などの労働条件はどうあるべきか、を常に追求して労働条件の改善のために活動しています。また、住民と手をとり合い、憲法と地方自治が生きる地域づくりをすすめる労働組合です。「地域住民の繁栄なくして自治体労働者の幸せはない」が私たちのスローガンです。



# 労働組合に入っていいしょに声をあげませんか



医療と保健所の体制強化を求める記者会見

*Creation of a Future*  
Aopro

青年同士つながりを広げ、  
深め、学び、一緒に未来を考える集会、それが、

**「青年未来づくりプロジェクト」**です。

(略称『青プロ』)

全国の仲間と交流を深めよう！  
ブロック、地方組織、単組での  
青年（部）活動の活性化をめざ  
そう！つながり合い輪を広げ、  
仲間を増やそう！



*What is  
Jichinoren Undo?*



上：1994年北海道で行われた「JJ ジャンボリー in トマム」下：2014年「おきプロ NEXT」には1533人が参加



キャラクター あおちゃん

# 自治労連共済が 新生活を応援します



「ケガしちゃったけど 助かっちゃった！」の巻



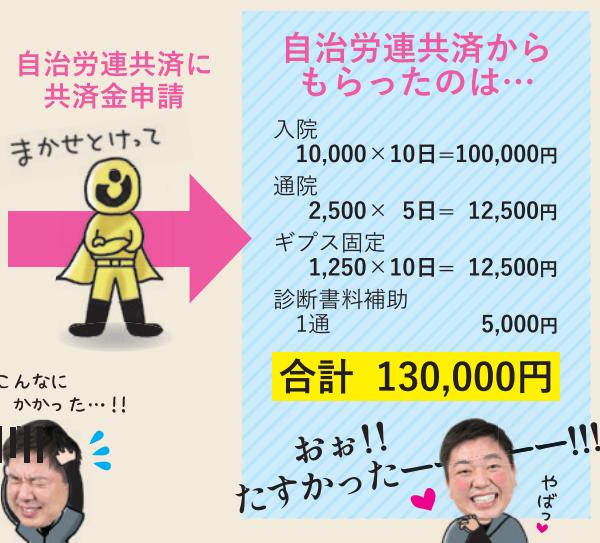
**彼が笑顔になった理由はコレだっ!!!**

彼が加入してたのは、  
医療保障が手厚い  
やつ

**共済掛金 月々1,820円で**  
不慮のケガ入院… 1日 10,000円  
ケガ通院…………… 1日 2,500円  
ギブス固定………… 1日 1,250円

## ケガの治療にかかった費用

請求書		
入院自己負担3割		
10日	51,170円	
食事代		
10日(30食)	7,800円	
差額ベッド代		
10日	30,000円	
通院自己負担3割		
5日	15,000円	
診断書		
1通	5,000円	
合計		108,970円



※共済金としてお支払するときは要件を満たしていることが前提となります。

全国の先輩達が、万が一のときはみんなで助け合おうとつくってきた共済。

あなたの加入は、遠くのだれか、近くのだれか、次の後輩を守ることにつながっていく。

組合から新採のあなたへ「おめでとう。これからよろしくね。賃金も生活も守っていくよ」のメッセージをこめた **共済のキャンペーンを見逃すな!!!**

### 民間保険と自治労連共済の大きな違いは…

民間保險

民間保険は「営業」。  
保険料をこう使う

事業費・営業費等  
(代理店報酬、  
CM宣伝費  
営業・集金職員の  
人件費等)

約 30 ~ 50% が  
支払われる保険金

自治労連共済

自治労連共済は  
全国の「組合員の助け合い」

組合だから、  
利益を目的と  
してないんだよ

**70%** が支払われる  
共済金

おまもりとして火災共済で家財保障も！

賃貸アパート暮らしなら家財だけでも入っておくといいよ。  
雷でパソコンがこわれたときも保障があるよ～。

おまちしています！

手続きや質問は身近にある組合事務所まで

くわしいパンフレットをご用意します。職場の先パイにも聞いてみよう～。

